

STAFF

教授 日野輝明  
環境動物学、生態学、生物測定学  
動物生態学特論(大学院)

教授 新妻靖章  
動物保全生態学、生物測定学、生物環境科学Ⅲ、  
動物生態学特論(大学院)



教授 日野輝明



教授 新妻靖章

研究内容

## 動物と環境との関係を探る



ウミネコ

土壌流出による海洋生態系への影響



イワナ

採食による河川・湖沼生態系への影響



ニホンジカ

植生変化による森林生態系への影響



カワウ

排糞による里山生態系への影響



コマドリ



オサムシ



アカガエル

陸地から海洋まで幅広い自然環境をフィールドにして  
そこに生息するさまざまな野生動物の生態・行動・生理を調べることで  
生物間の相互作用や生態系間の相互作用を解明し  
生物多様性をいかに保全してゆくべきかについて取り組んでいます

最近の主な論文・著書／・ Ito H, Hino T & Takahashi H (in press) Optimum density of sika deer for tree seedling survival. Journal of Wildlife Management  
・ 齊藤浩明・風間健太郎・日野輝明 (2013) カワネズミの捕獲率に及ぼす環境要因. 哺乳類科学 53: 117-121.  
・ 日野輝明・石田朗 (2012) GPSアルゴリズム追跡による東海地方のカワウの行動圏と季節移動. 日本鳥学会誌 61: 17-28.  
・ Shirai M, Niizuma Y, Tsuchiya K, Yamamoto M, Oka N. (2013) Sexual Size Dimorphism in Streaked Shearwaters (*Calonectris leucomelas*). Ornithol Sci 12, 57-62  
・ Kazama K, Hirata K, Yamamoto T, Hashimoto H, Takahashi A, Niizuma Y, Trathan PN, Watanuki Y (2013) Movements and activities of four male Black-tailed Gulls in breeding and sabbatical years. J Avian Biol 44, 603-608.  
・ Mizutani Y, Tomita N, Niizuma Y, Yoda K (2013) Environmental perturbations influence telomere dynamics in long-lived birds in their natural habitat Biol Lett 9, 20130511. doi: 10.1098/rsbl.2013.0511.